

New Year's greetings

新年のごあいさつ



「オール弘前」で「地方創生」を

市 長 葛 西 憲 之



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、一部で雹（ひょう）害等の被害はありましたが、一昨年と比較して大きな自然災害に見舞われることもなく、多くの市民の皆様におかれましては、安心して穏やかな新年をお迎えのことと思います。

当市は昨年5月に「弘前市経営計画」を策定し、20年後の将来都市像である「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」の実現に向けて動き出しております。

現在、人口減少・超少子高齢化といった課題に対し、地域が自律的に持続可能な社会を作り出すという「地方創生」が求められております。当市はこの人口減少を「弘前市経営計画」における最重要課題として捉え、「地方創生」の全国モデルとなるよう、市民の力と知恵を結集して「オール弘前」体制で取り組みを加速していきたいと考えております。

100年に一度の大工事となる弘前城本丸石垣修理事業では、今年の夏、いよいよ天守の曳屋（ひきや）が行われます。石垣修理は、史跡弘前城跡を保護し後世に継承するための事業であります。同時に、弘前を知ってもらふ絶好の機会と捉え、観光PRやシティプロモーションを積極的に行ってまいります。また、プロ野球誘致や吉野町緑地の利活用など、地域資源を生かした夢のある取り組みを強化し、これからも歴史と伝統を大切にしながら、外部環境の変化に対応し、しっかりとした地域経営を進め、持続的発展を目指してまいります。

子どもたちの笑い声が響きわたり、市民が笑顔で毎日楽しく過ごせるよう、全力を尽くしてまいりますので、市民の皆様には、一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が明るく希望に満ちた年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

年頭にあたって

市議会議長 田 中 元



あけましておめでとうございます。

平成27年初春にあたり、市民の皆様には、気持ちを新たにして、お過ごしのこととお喜び申し上げます。

21世紀に入りましてから15回目の新年を迎え、津軽富士岩木山はいつもと変わらぬ姿のままですが、過去には大自然の力によって幾度となくその姿形を変えながら人々の暮らしを見守ってきたのであります。その強大な力を目の当たりにしたのは、昨年9月27日の御嶽山の突然の噴火で、山の近くで生活する我々にとっては、他人事とは思えない出来事でありました。活火山である岩木山に対しては、関係者が一丸となって対策を講じていくことはもちろんですが、山に入る際には、自分のことは自分で守るための術を身に付けることの大切さを改めて考えさせられました。

津軽の人間にとって、岩木山はふるさとそのものであり、その姿を美しいと感じるのでありますが、「美」という漢字には今年の干支である羊が含まれております。美は、「羊」と「大」を組み合わせたもので、大きく育った黄金色の羊の美しさが語源と言われております。その羊が大勢で暮らす群れが持つイメージ「家族の安泰やいつまでも平和な暮らし」にあやかり、今年も自然災害などに遭うことなく、穏やかな一年となりますことを願っております。

市議会といたしましても、目まぐるしく変わる社会情勢に素早く対応できるよう、自らの役目をしっかりと果たし、市が実施する各種施策に対して、後押ししてまいりたいと考えております。

最後になりますが、この一年、皆様にとりまして幸多き健やかな年でありますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。